同窓会だより

発　行
〒716-0004
高梁市内山下38
岡山県立高梁高等学校
同窓会事務局
TEL 0866-22-3047

印　刷　所
ノーイン株式会社

ご挨拶

会長　樋口　満

臥牛の峰に初夏の若葉が生い茂って、青々とした生気を漲らし、校内の心字池に美しく映ゆる季節となりました。同窓生の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類相当に移行され、徐々にコロナ禍前の日常を取り戻した昨年度でした。

高梁高校にも様々な学びの機会が戻ってきました。ノーウッド・インターナショナル・ハイスクールとの「姉妹校交流 in オーストラリア」は4年ぶりに再開され、11泊14日で18名の生徒が参加されました。学園祭の松籟祭も4年ぶりの全面公開で、忘れられない思い出の1ページとなったようです。また、高梁市アンペール高校教育交流事業で5名の生徒がフランス・リヨン市のアンペール高校を訪問し、8日間のホームステイを楽しみました。25周年の家政科展、24回目を数えるスプリングコンサートも盛大に行われ、日頃の学習・活動の成果が地域に披露されました。

母校はこの1年も地域の拠点校として、その重責を果たしています。家政科では、今年も家庭科技術検定で四冠王の生徒が出てくれました。県下唯一で、6年連続は全国でもごくわずかだそうです。三冠王も14名と近年では一番多く、多くの生徒が専門的で高度な技術力を身につけてくれています。普通科では、卒業生は86名で、延べ54名が国公立大学に合格。国公立大学合格率が63％と、過去最高の数値を記録しました。また、岡山大学に12名合格。同窓生としても誇らしい結果でした。部活動では、三村真奈美さんが第47回全国高等学校総合文化祭に美術・工芸部門で参加、男子ソフトボール部が第47回中国高等学校男子ソフトボール選手権大会、第27回中国高等学校ソフトボール新人大会ともに準優勝と見事な成果をあげられました。その他、現在の学校の様子は、学校ホームページやFacebook等で日常的に発信されておられますので、是非、ご覧ください。

また、この度の入試から、高梁高校は普通科を全県学区にされました。学区拡大に伴い寄宿舎・寮の役割がますます重要になるため、クラウドファンディング「『温知寮・泉寮』リフレッシュプラン」を立ち上げられています。同窓生の皆様も、ご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、高梁高校同窓会にも活気が戻ってきました。まず、8月14日(月)に同窓会総会を高梁国際ホテルで開催。そして、10月21日(土)に東京支部総会がホテルルポール麹町で、11月19日(日)には関西支部総会がニューオーサカホテルで行われました。いずれの会も4年ぶりの開催で、久しぶりに会った同窓生同士、近況報告など尽きぬ話で、笑顔の絶えない和やかな時間を過ごすことができました。関西支部では『高梁高校同窓会関西支部だより』が創刊されました。工夫され充実した誌面、読み応えがある内容で、編集の方々のご労苦に感謝いたします。今後もさまざまな形で、同窓会を盛り上げていただくようお願い申し上げます。本年も同窓会総会を、8月14日(水)に高梁国際ホテルで開催予定です。同窓会を通じて、私たち同窓生の交流を深め、母校とのつながりを強められることを期待しています。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしますとともに、同窓会において皆様にお目にかかれますことを心から願っています。

志高く自らの可能性に挑戦し続け、社会でグローカルに活躍する人を育てる

校長　鳥越信行

臥牛山の木々も夏の日差しを浴び、一層その緑を輝かせる季節となりました。同窓生の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。また、日頃から同窓会の諸活動や本校の教育に対しまして温かいご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、本校は昨年度、学校教育目標を改定しました。標題の「志高く自らの可能性に挑戦し続け、社会でグローカルに活躍する人を育てる」です。学校教育目標を効果的に実現していくには、その意味するところを皆で共有し、各教育活動の目標と往還させることが必要です。学校教育活動の核として、教職員はもとより、生徒、保護者や地域の人々にとっても、活きた目標として身近な存在となるよう、一文で端的に示した具体的でわかりやすいものにしました。

前半部分では、校訓「向上進取」「天分発揮」「有終の美」の精神を礎とし、生徒一人ひとりがよりよい方向を目指して最後までやり遂げ、本来もっている可能性を最大限発揮すること。後半部分では、地域創生につながる人間育成が求められている今、世界的視野に立って考え、地域視点で社会に参画する人を育てることを意味しています。

そして、学校教育目標を踏まえて、それを具体化したものが「育てたい生徒像」であると位置づけ、育成したい資質・能力は「未来を拓く8つの力」としました。

■育てたい生徒像　Graduation Policy

- 高い志で挑戦し、個性と能力を最大限に発揮できる生徒。
- 未来を拓く8つの力*を身につけ、グローカルな視点で社会に参画できる生徒
- 生涯にわたって主体的に学び、持続可能な社会の実現に向けて行動できる生徒

■未来を拓く8つの力：「良く生きる」ために育てたい力

- 未来を描く知と技：社会で生きる教養力［全科共通］、専門的で高度な技術力［家政科］
- 課題発見・解決力：情報を活用する力、論理的・批判的に思考する力、自分の考えを表現する力［全科共通］
- 未来を創る実行力：対話し協働する力、志高く挑戦する力、自律しやり抜く力［全科共通］

未来を拓く8つの力は、「課題発見・解決力」を中核とし、それを支える「未来を描く知と技」と、使い方を方向づける「未来を創る実行力」の三層構造で、学力の三要素と呼応しています。学校教育全般で横断的に育むものであり、主体的・対話的で深い学びの視点からの教育実践を通して、全教職員で意識し育んでまいります。

また今年度から、本校は「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」の対象校となりました。高梁高校はICT教育先進校として県内外から注目され、日本教育工学協会より、高等学校では中四国初の「学校情報化優良校」に認定されていますが、今後更にICTを活用した文理横断的な探究的学びを強化してまいりたいと考えています。

高梁高校で過ごす3年間で、生徒一人ひとりが可能性や視野を広げ、やがて自分の夢を見つけられるように、そして、その達成に向けて努力していけるよう、高梁高校は新しいステージを全力で創りあげています。

最後に、同窓生の皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈りいたしますとともに、母校への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

お知らせ

同窓会総会のご案内

令和6年度の同窓会定期総会を次のとおり開催します。万障お繰り合わせの上、是非ともご出席いただきますようにご案内申し上げます。

なお、総会後、懇親会を開きます。今年度の懇親会は、下記の当番幹事学年の方を中心に催されます。こちらへのご出席もよろしくお願いします。

高39回卒（昭和63年卒）
高49回卒（平成10年卒）
高59回卒（平成20年卒）
高69回卒（平成30年卒）

記

日　時　令和6年8月14日(水)
　　　　午前11時から
場　所　高梁国際ホテル
　　　　高梁市正宗町2033
　　　　TEL 0866-21-0080
会　費　5,000円
　　　　卒業後4年以内の同窓生は無料とします

支部総会のご案内

＜東京支部総会＞
令和6年10月26日(土)12：00～
東京都千代田区平河野2-4-3
ホテルルポール麹町

＜関西支部総会＞
令和6年11月16日(土)12：00～
大阪市淀川区西中島5-14-10
ニューオーサカホテル

【同窓会新役員】

会長	樋口　満	（高13回卒）
副会長	永井　芳郎	（高20回卒）
	小泉　博	（高23回卒）
	岡田　誠治	（高24回卒）
	小田　幸伸	（高25回卒）
	松本　圭司	（高27回卒）
	近藤　隆則	（高28回卒）
	西　佳子	（高29回卒）
	蟻正　教子	（高30回卒）
監査	片岡　康平	（高18回卒）
	竹井　淳	（高23回卒）
	菅田　吉昭	（高39回卒）

同窓会だよりの発行について

年1回発行しています同窓会だよりは、毎年7月末に同窓会員の皆様全員に送付してまいりましたが、同窓会費が逼迫しており同窓会員の皆様全員に同窓会便りを送付することが困難な状況となっております。この状況への対応として、令和5年度から送付を次の会員の方々に限らせていただき、その他の会員様には高梁高校のホームページからご覧いただくようにいたしました。同窓会員全員の皆様にお届けできないことを大変申し訳なく思っておりますが、今後はホームページやSNSを利用した同窓会運営に切り替えてまいりたいと思いますので、状況をご理解いただくとともにご協力をよろしくお願いいたします。なお、引き続き同窓会だより発行募金へのご協力をよろしくお願いいたします。

【今後も送付させていただく会員様】

1. 卒業年度が昭和47年以前の同窓生
2. 卒業後5年以内の同窓生
3. 3年以内に同窓会だより発行募金を寄付していただいた同窓生

SNS（フェイスブック・インスタグラム）をご覧ください。

高梁高校の日常をより身近に感じていただけるようにと、フェイスブック・インスタグラムの運用を行っています。授業風景や生徒会活動、部活動の様子などを、タイムリーに掲載しています。後輩たちの生き生きとした学校生活の様子を、ぜひご覧ください。2次元バーコードは、こちらです。

インスタグラム　フェイスブック

『温知寮・泉寮』リフレッシュプランへのご支援のお願い

高梁高校の生徒募集は、少子化、都市部への人口集中、生徒・保護者の考え方の変化等により、厳しい状況が続いています。そういった中、本校は普通科の学区を全県学区にしました。中学校生徒数の減少に伴い、本校に進学する可能性を持つ中学生の絶対数が少なくなり、関係性の固定・序列化、刺激・競争が生まれないなどの課題が生じています。全県学区にすることで、異なる背景や価値観を持つ生徒が入学し、新たな視点や発想が生まれ、子どもたちのさらなる成長につながる学びを実現できると考えています。その結果、今年度、旧学区以外からの入学生は16名（内12名が普通科）で、全体に占める割合が大きくなっています。また、遠隔地からの入学生が増加しています。寮生は1年次16名で、2年次7名、3年次6名から倍増し、寮の役割がますます重要になってきています。

さて、温知寮・泉寮は改築後50年を経過し老朽化が進み、リフォームを考えています。長い伝統を受け継ぎながらも、この寮を舞台に、寮生・高校・保護者・地域がつながり、ともに学び一人ひとりの自律と成長につながる新しい形の「共育寮」を目指します。ふるさと岡山〝学び舎〟環境整備事業を利用して、「温知寮・泉寮」リフレッシュプランを立ち上げました。まずは、食堂を改修し、学びや交流を深めることのできる食堂・学習室・交流室を整備したいと考えています。

目標寄付金額は2,500万円。個人の方の寄付額のうち2,000円を超える部分については、所得税や住民税から全額が控除されるため、寄付者の実質的な負担は2,000円です。また、企業からの寄付の場合、寄付金の全額を損金算入することができます。自己負担額は最小で寄付額の1割といわれています。同窓生の皆様方にも、後輩へのご支援よろしくお願いいたします。寄付申込方法はこちらから

進路状況

進路課長　遠藤　隆

近年、私たちをとりまく社会環境は急激に変化しており、その大きな変化にあわせてこれからの社会で求められる力、そして学校教育で身につけさせるべき力も変わりつつあります。その大きな波を受けて様々な入試改革がなされる中、総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試の定員割合が高まり、一般入試においても調査書や活動報告書を得点化する大学が増えつつあります。そこでは、学力の3要素「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力（人間性）」すなわち、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を、多面的・総合的に評価する傾向がいっそう強まりました。

2024年度入試を総括すると、前年度に引き続き受験の早期化すなわち年内の早期入試で合格を勝ち取ろうとする動きが加速しました。そのため総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試では高倍率となることも多く、本校の生徒も苦戦しました。一般入試においては、共通テストの平均点が昨年度よりも高まったこともあり、本校の生徒も総じて持てる力を発揮できたように感じています。その後の1ヵ月、クラス担任や教科担任を中心として、生徒を励ましながら粘り強く指導にあたり、生徒もそれに応えて個別試験に向けて一生懸命学習に取り組んでいきました。前期試験で合格できなかった生徒の多くが、今年度も粘りを見せ中後期試験で合格を勝ち取ったことは、教員にとっても大きな喜びとなりました。最終的には普通科86名、家政科28名の令和5年度高梁高校卒業生は、各自の目指すステージに進んでいきました。四年制大学への進学希望者80名のうち国公立大学に54名（過年度生1名含む）の合格者を出すことができ、普通科では国公立大学への合格率が過去最高の63%となりました。志高く、日々の授業や家庭学習に、真摯に取り組んできた卒業生の力であると感じています。高梁高校から踏みだし、将来各々のステージで活躍していくことを楽しみにできる年次となりました。

新教育課程となり、共通テストでは新たな科目「情報」が追加されます。また、デジタル人材を育成するという社会の要請を受けデータサイエンス系の学部を新設する大学が増加しています。その一方で、少子化の影響は大学の存続にも大きな影響を与え、今後も受験の早期化や学部再編がいっそう進んでいくと思われます。「不易と流行」、ますます進む入試制度改革のなかでも、伝統ある本校に課された「社会の有為な形成者を育成する」という責務は変わりありません。より良い社会を築いていく未来ある生徒の素地を育て、一人ひとりの特長を伸ばす進路指導をいっそう充実させていきたいと考えています。

国公立大学

北海道大1名、岡山大12名、島根大8名、鳥取大6名、山口大1名、香川大2名、愛媛大1名、高知大2名など、中四国地方を中心として全国各地の大学に54名が合格しました。卒業生に対する国公立大合格者数割合は、過去最高の63%となりました。

私立大学・短期大学・専門学校

同志社大1名、立命館大3名、京都女子大1名、龍谷大3名、近畿大6名、甲南大1名、清心女子大12名など、近畿地方・中四国地方の私立・短大・専門学校に多くの合格者を出しました。家政科からも、のべ5名の生徒がノートルダム清心女子大に合格しました。

就職

製造職や事務職などに、計4名が就職しました。また自衛官として1名が採用されました。

1．令和6年3月卒業生進路状況

（普通科・家政科）

種別		合格者数	進学・就職者数		
			普通科	家政科	計
進学	国公立大学	53	50	0	50
	私立大学	85	30	10	40
	国公立短期大学	1	1	0	1
	私立短期大学	2	0	2	2
	専修・各種学校	15	5	10	15
	予備校・その他	1	0	1	1
	計	157	86	23	109
就職	一般企業	4	0	4	4
	公務員	1	0	1	1
	計	5	0	5	5

令和5年度 会務報告

令和5年
6月20日（火）
17：30～（個別による監査）
片岡監査、菅田監査
18：00～　役員会（応接室）
樋口会長他11名
18：30～　幹事会（会議室）
樋口会長他22名
8月14日（月）
11：00～　総　会（高梁国際ホテル）
樋口会長他38名
12：00～　懇親会（高梁国際ホテル）
10月21日（土）
12：00～
東京支部総会
（東京都千代田区ルポール麹町）
11月19日（日）
12：00～
関西支部総会（ニューオーサカホテル）
令和6年
2月29日（木）
入会式（体育館）
樋口会長
新入会者数
（家政科28名、普通科86名　計114名）

令和５年度　岡山県立高梁高等学校同窓会 一般会計決算書

収入の部　（単位：円）

科目	予算額	収入済額	比較増減（△）	摘要
会費	399,000	388,000	△ 11,000	@1,000円（学年ごとに納入）
総会懇親会費	150,000	170,000	20,000	令和5年度総会
寄付金	800,000	811,000	11,000	同窓会だより発行募金への応募
繰越金	897,158	897,158	0	令和4年度からの繰越金
雑収入	842	1,046	204	預金利息
名簿収入	100,000	114,850	14,850	名簿売上等
計	2,347,000	2,382,054	35,054	

支出の部　（単位：円）

科目	予算額	支出済額	差引残額	摘要
会議費	400,000	423,408	△ 23,408	総会、役員会
旅費	70,000	114,710	△ 44,710	東京支部総会、関西支部総会
消耗品費	10,000	5,575	4,425	クリアーファイル、封筒
通信費	1,120,000	1,104,776	15,224	同窓会だより発送、東京支部郵送料
印刷費	150,000	122,606	27,394	同窓会だより印刷
渉外費	3,000	0	3,000	
慶弔費	30,000	23,530	6,470	叙勲受章者への祝電
記念品料	0	0	0	
雑費	50,000	51,958	△ 1,958	口座振替手数料、過年度会費返金
予備費	514,000	0	514,000	
計	2,347,000	1,846,563	500,437	

※収入済額（円）　支出総額（円）　次年度への繰越金（円）
2,382,054　－　1,846,563　＝　535,491

令和６年度　岡山県立高梁高等学校同窓会 一般会計予算書

収入の部　（単位：円）

科目	予算額	前年度予算額	比較増減（△）	摘要
会費	424,000	399,000	25,000	@1,000円（学年ごとに納入）
総会懇親会費	150,000	150,000	0	令和6年度総会
寄付金	800,000	800,000	0	同窓会だより発行募金への応募
繰越金	535,491	897,158	△ 361,667	令和5年度からの繰越金
雑収入	9	842	△ 833	預金利息
名簿収入	9,500	100,000	△ 90,500	名簿売上等
計	1,919,000	2,347,000	△ 428,000	

支出の部　（単位：円）

科目	予算額	前年度予算額	比較増減（△）	摘要
会議費	400,000	400,000	0	役員会・総会経費
旅費	120,000	70,000	50,000	各支部総会
消耗品費	6,000	10,000	△ 4,000	事務用品
通信費	579,000	1,120,000	△ 541,000	同窓会だより発送作業費、郵便代等
印刷費	123,000	150,000	△ 27,000	同窓会だより印刷費
渉外費	3,000	3,000	0	
慶弔費	30,000	30,000	0	慶弔電報
記念品料	165,000	0	165,000	２年に１度購入
雑費	50,000	50,000	0	郵便振込手数料、過年度会費返金
予備費	443,000	514,000	△ 71,000	
計	1,919,000	2,347,000	△ 428,000	

主な支部・連絡先

●東京支部
支部長　佐々木　敦則（第22回卒）
連絡先　前島　克好（第24回卒）
taka-tyo@googlegroups.com

●関西支部
支部長　藤岡　敏彦（第24回卒）
連絡先　藤岡　敏彦（第24回卒）

編集後記

まず、今号の作成にご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。昨年4年ぶりに開催された同窓会総会が本年も開催される予定です。6月の幹事会には今春の卒業生が3人参加してくれました。是非、総会にも若い同窓生の皆様の参加をお待ちしています。

近頃、ドジャーズの大谷翔平選手の活躍をよく目にします。今年は打者に専念していますが、海を渡っても二刀流は彼の代名詞になりました。同時に元祖二刀流ベーブ・ルースと比較され、「もしベーブ・ルースが現代に現れたら活躍できるのか」と話題になったのを覚えています。

さて、高梁高校では生徒が地域社会の抱える問題点について考え、その課題解決に挑戦しています。その取り組みを備中松山藩で藩政改革を成功させた山田方谷にちなみ「方谷学」と呼んでいます。もし山田方谷が現代に現れたら、どうでしょうか。彼の物事を大局的な見地から捉え解決していく考え方は、現代においても私たちが進むべき指針を示してくれると期待するのは私だけでしょうか。